

令和4年度 ICT 活用事例報告書

学部 : 高等部
事例項目 : ○人間関係形成・社会形成能力 ルールやマナーを守って公共交通機関や支援機関の送迎車等を利用する。
事例項目を踏まえた ICT 活用上の工夫 生徒が主体的にルールやマナーの学習ができるように、タブレットPCを用いたクイズ形式の学習を取り入れたこと
対象学習グループ・児童生徒とその実態 <ul style="list-style-type: none">・ 高等部の男子生徒6名、そのうち4名が単独通学で普段から公共交通機関を利用している。料金の支払い、時刻確認など問題なく行えている。乗車時のルールやマナーも概ね守ることができているが、現場実習中に登下校時と異なるバス・電車を利用する生徒もいるため、このテーマを設定した。・ タブレットPCは使い方を説明すると、全員が使用することができる。普段の学習でもタブレットPCを使用する学習では意欲的な様子が見られる。
事例項目を踏まえた ICT 活用の実際と事例項目に係る力の育成について
1 授業の概要 <ul style="list-style-type: none">・ 授業のねらいは、公共交通機関を利用するときのルールやマナーについて理解することで、これに迫るための活動として、クイズ形式でルールやマナーを確認する活動を取り入れた。
2 ICT の活用 <ul style="list-style-type: none">・ 生徒が主体的に活動できるよう、1人1台タブレットPCを用意し、自分のペースで学習できるようにした。また、文字の読み書きが苦手な生徒もいるため、イラストや写真を多く使用することで、全員の理解を深められるようにした。・ 不正解になってしまっても正解するまで同じ問題にチャレンジできるようにすることで、最終的には全問正解になる、という形にした。また、クイズだけでなく、正解のあとに説明を加えることにした。
3 事例項目に係る力の学習グループ・児童生徒の変容 <ul style="list-style-type: none">・ クイズ形式にしたことで、意欲的に活動に取り組むことができていた。また、操作方法も自分たちで理解することができていた。・ 終わった後に正解数等を確認すると生徒Aは「ルールとマナーの違いが分かりませんでした。」と答え、正解を聞くと、「マナーはみんなが気持ちよくすごすためにあるものです。」と理解した内容を伝えることができた。・ 全問正解だった生徒B、生徒Cに対して、初めて知ったことはあるかを聞くと、それぞれ「荷物を自分の体の前で持つことを知りました。」「電車を待つときはたてに並ぶことが分かりました。」と答えることができた。
ICT 活用に係る今後について <ul style="list-style-type: none">・ クイズ形式にしたことで、生徒それぞれのスピードで取り組むことができた。・ パワーポイントで作成したので、正解不正解の判断が生徒本人に聞かないと分からなかった。正答率までわかるようなアプリを使用できたらよかったと思う。
今後の「キャリア教育全体計画の育てたい力」の育成について <ul style="list-style-type: none">・ 学校外の活動についても、ルールやマナーを繰り返し伝えていくことは必要だと思う。・ ルールやマナーの学習だと、やってはいけないことを教える場面が多く、厳しい話をしてしまうこともあるが、クイズ形式にしたり、主体的に活動に参加できる教材を用意したりすることで、楽しみながら学べるようにしていける方法を考えられるようにしたい、と感じた。・ 今回は画面上での学習のみになってしまったので、今後同じような機会があれば、実際に経験する活動と合わせて指導できるようにしていきたい。

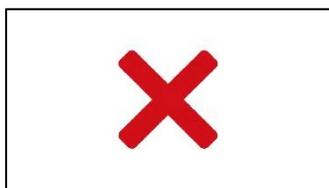
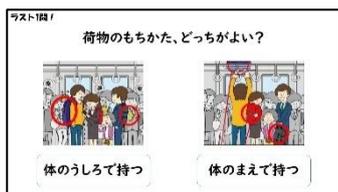
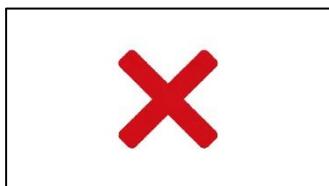
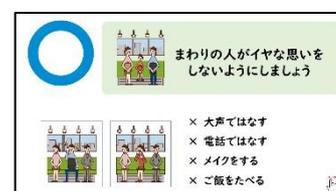
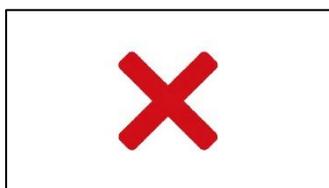
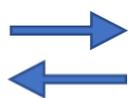
別添資料



問題（一部）

誤答を選ぶ→×のスライド→画面を触ると同じ問題に戻る

正解を選ぶ→○のスライド&解説



全問正解できたら、合格証書が表示されるようにした

